

# 株主通信



第54期 第2四半期

平成20年4月1日～平成20年9月30日

## ごあいさつ



皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「株主通信」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

本株主通信より、簡素で皆さまにわかりやすい「株主通信」をお届けするため、内容および構成を変更させていただくこととなりました。株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国を中心とした金融市場の混乱や実体経済の世界的な先行き不透明感の増大などを背景に、原材料価格の高騰や輸出の減少、雇用情勢の悪化などにより、企業収益や個人消費への影響が広がり、景気後退が鮮明となりました。

当業界におきましては、個人消費の伸び悩みや業界再編による競争激化、業法改正への対応など、厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは「今までにない全く新しいタイプの信販会社になる」という戦略ビジョン

の実現に向け、今後の事業展開の基盤となるインフラ整備や商品戦略の改善に取り組んでまいりました。

今後は、戦略ビジョンの着実な実現に向けて、経営変革などによる体質強化と先進的なIT基盤を背景に、新生銀行グループの主要な子会社としてグループにおけるシナジーを最大限発揮し、さらなる商品・サービスの拡充に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

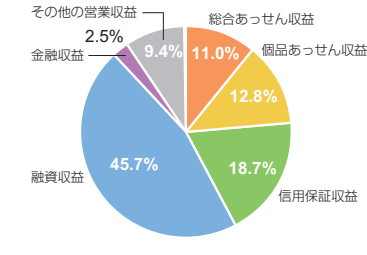
平成20年12月

代表取締役社長 最高経営責任者(CEO)  
クラーク・ダグラス・グラニンジャー

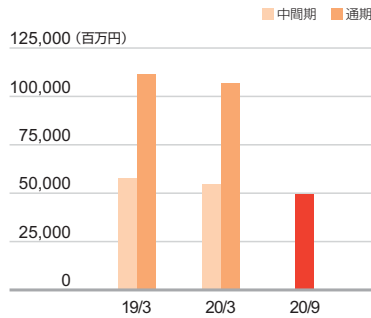
	平成19年3月期		平成20年3月期		平成21年3月期
	中間期	通期	中間期	通期	第2四半期(累計)
営業収益	57,380	111,414	54,439	106,799	49,196
総合あっせん収益	4,289	8,900	4,838	9,965	5,395
個品あっせん収益	10,226	20,502	7,629	14,882	6,295
信用保証収益	13,848	26,424	11,196	21,207	9,200
融資収益	23,918	44,931	25,290	49,565	22,474
金融収益	1,093	2,369	1,276	2,459	1,217
その他の営業収益	4,003	8,285	4,207	8,719	4,613
営業利益(△営業損失)	3,442	△14,964	1,370	2,505	4,177
経常利益(△経常損失)	3,543	△14,979	1,467	2,429	4,193
当期純利益(△当期純損失)	501	△29,386	3,786	6,124	2,861
純資産	74,062	59,574	61,452	111,683	112,838
総資産	1,608,290	1,550,781	1,462,437	1,433,384	1,400,984

## 部門別営業収益構成比

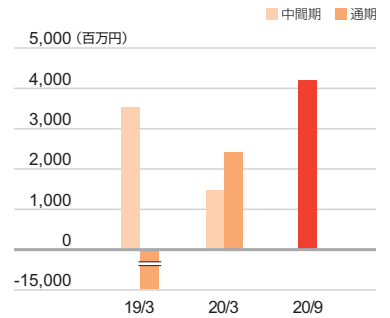
(平成21年3月期第2四半期累計)



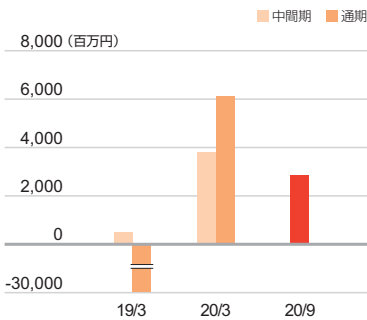
## 営業収益



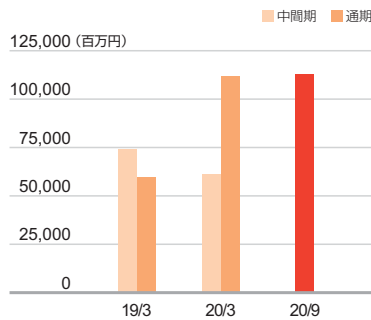
## 経常利益(経常損失)



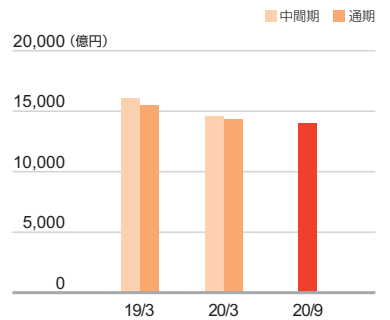
## 当期純利益(当期純損失)



## 純資産



## 総資産



当社の詳しい情報はホームページからもご覧いただけます。

URL: <http://www.aplus.co.jp/company/index.html>

## 当第2四半期の業績について／株式の状況

### ● 業績の状況 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

当第2四半期連結累計期間における営業活動につきましては、ショッピングクレジット事業における採算性を重視した営業スタイルへの転換やバックヤードの充実による他社との差別化、カード事業における積極的なマーケティング活動を通じた利用促進、決済事業における取引先の拡大、消費者金融事業における良質債権の積み上げ、金融機関とのローン保証業務の拡大などによるポートフォリオの多角化に取り組んでまいりました。また、与信・回収面におきましては、先進的なITインフラを背

景としたリスクコントロールの精緻化・厳格化に取り組み、良質債権の積み上げや回収体制の一層の充実などによるクレジットコストの抑制に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、営業収益491億96百万円、営業利益41億77百万円、経常利益41億93百万円となりました。また、特別損失として過年度報奨金等および投資有価証券評価損を計上した結果、四半期純利益は28億61百万円となりました。

### ● 利益配分に関する基本方針および中間配当

利益配分につきましては、財務体質の強化および将来の事業展開に備えるとともに、当社グループを取り巻く環境などを総合的に勘案し、中長期的な視点に立って株主の皆さまへの安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。

なお、当第2四半期末の配当につきましては、D種優先株式に対する配当は発行条件に則り実施させていただきます。B種・C種・E種・F種・G種優先株式および普通株式に関しましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

### ● 通期の業績見通し

当第2四半期連結累計期間の業績は当初の業績予想を上回る進捗状況となっておりますが、世界的な景気低迷により個人消費の伸びが期待できない中、当社グループを取り巻く業界環境は引続き厳しいものと予想され、利息返還請求の動向などに依然注意を要する状況にあることなどから、通期の連結業績予想(営業収益、営業利益、経常利益および当期純利益)につきましては、平成20年5月14日公表の予想から変更あり

ません。平成21年3月期の連結業績は、営業収益1,000億円、営業利益70億円、経常利益70億円、当期純利益70億円を見込んでおります。

なお、1株当たり当期純利益の算出におきましては、平成21年3月期第2四半期の配当原資を資本剰余金とすることを決議したことを踏まえ、通期の配当原資を資本剰余金とすることに前提を変更し、13円06銭から29円68銭に修正いたしました。

#### 大株主

平成20年9月30日現在

##### ○ 普通株式

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社新生銀行	156,690	66.41
太陽生命保険株式会社	8,421	3.56
三信株式会社	4,083	1.73
三菱UFJファクター株式会社	3,906	1.65
大阪証券金融株式会社	3,288	1.39

※株数および比率はいずれも表示単位未満を切り捨てております。

##### ○ 優先株式

種類	株主名	当社への出資状況	
		持株数(千株)	出資比率(%)
B種優先株式	株式会社新生銀行	10,000	100.00
C種優先株式	株式会社新生銀行	15,000	100.00
D種優先株式	住友信託銀行株式会社	10,000	20.40
	住友商事株式会社	10,000	20.40
	株式会社新生銀行	8,500	17.34
	大同生命保険株式会社	5,000	10.20
	株式会社三井住友銀行	2,500	5.10
	太陽生命保険株式会社	2,500	5.10
E種優先株式	株式会社新生銀行	70,000	99.29
	大同生命保険株式会社	500	0.70
F種優先株式	株式会社新生銀行	10,000	100.00
G種優先株式	株式会社新生銀行	25,000	100.00

※株数および比率はいずれも表示単位未満を切り捨てております。

#### 株式の状況

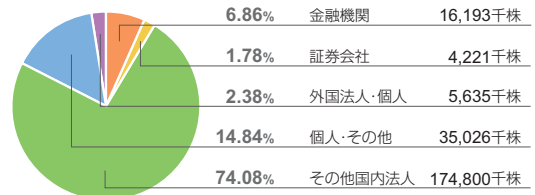
平成20年9月30日現在

発行可能株式総数	1,375,896,072 株	
発行済株式の総数・株主数	普通株式	235,931,829 株 8,496名
	B種優先株式	10,000,000 株 1名
	C種優先株式	15,000,000 株 1名
	D種優先株式	49,000,000 株 18名
	E種優先株式	70,500,000 株 2名
	F種優先株式	10,000,000 株 1名
	G種優先株式	25,000,000 株 1名

#### 株式分布状況(普通株式)

平成20年9月30日現在

##### ○ 所有者別



※株数および比率はいずれも表示単位未満を切り捨てております。

## 株式会社のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	500株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物の送付先: 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先: ・住所変更用紙のご請求 ☎0120-175-417 ・その他のご照会 ☎0120-176-417 ・インターネットホームページURL http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第一部
証券コード	8589
公告掲載方法	電子公告により行います。 ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 http://www.aplus.co.jp/company/index.html

**【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】**  
平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株券電子化後に係る買取請求のお取扱いについて】

株券電子化への移行に伴い、施行日前後における単元未満株式の買取請求につきましては、一定期間受付できないこともございますので、お含みおきいただきますようお願いいたします。

## ホームページのご案内

当社の詳しい情報はホームページからご覧いただけます。  
当社では、IR活動の一環としてインターネットによる情報発信の充実に向けてまいりますのでぜひご利用ください。

ホームページアドレス:

会社案内・IR情報アドレス:



http://www.aplus.co.jp/  
index.html

http://www.aplus.co.jp/  
company/index.html

## 会社概要

商 号	株式会社アプラス(APLUS Co., Ltd.)
所 在 地	本 店: 大阪市中央区南船場一丁目17番26号 東京本部: 東京都新宿区新小川町4番1号 アプラス東京ビル
設 立	昭和31年10月6日
資 本 金	150億円 (平成20年9月30日現在)
従 業 員 数	1,092名 (平成20年9月30日現在)
店 舗 数	全国主要都市39店舗 (平成20年9月30日現在)
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ショッピングクレジット事業 (オートクレジット、ECOローン、リフォームクレジット、ディーラークレジットなど)</li> <li>○ カード事業 (クレジットカード、提携カード)</li> <li>○ 消費者金融事業 (ローンカード、各種目的ローンなど)</li> <li>○ 決済事業 (オートネットサービス、コンビニ集金代行サービス、家賃サービスなど)</li> <li>○ その他の事業 (住宅関連ローン、ビジネスサポートサービス、リースなどのファイナンス事業、保険事業)</li> </ul>
関 係 会 社	全日信販株式会社 アルファ債権回収株式会社 株式会社アプラスビジネスサービス パシフィック・オート・トレーディング株式会社 その他4社 (平成20年9月30日現在)
役 員	<b>取締役・監査役</b> 代表取締役 社長 / 最高経営責任者 (CEO) クラーク・ダグラス・グラニンジャー 代表取締役 副社長 / 副社長執行役員 / 最高執行責任者 (COO) / 最高人事責任者 (HRリーダー) 龍谷 修司 取締役 常務執行役員 / 最高財務責任者 (CFO) 野口 郷司 取締役 常務執行役員 / 最高営業責任者 (CSO) 佐藤 正樹 常勤監査役 佐藤 義昭 常勤監査役 竹内 晃 監査役 (非常勤) 森川 輝夫 監査役 (非常勤) 宇都宮加城 <b>執行役員</b> 常務執行役員 最高IT責任者 (CIO) ピーテル B.フランケン 常務執行役員 最高マーケティング責任者 (CMO) 須賀亜衣子 執行役員 最高オペレーション責任者 畷森 達朗 執行役員 渡邊 勝之 執行役員 拝郷 秀夫 執行役員 最高信用リスク責任者 (CRO) 嶋崎 雅之 執行役員 最高購買責任者 (CPO) 市橋 正一 執行役員 秋元 英之 執行役員 奥田 正一 ※常勤監査役 竹内 晃、監査役 (非常勤) 森川 輝夫、 宇都宮 加城は会社法に定める社外監査役であります。 ※CPOは (Chief Purchasing Officer) の略称であります。 ※HRIは (Human Resources) の略称であります。 (平成20年11月13日現在)

## 株式会社アプラス

東京本部: 〒162-8535 東京都新宿区新小川町4-1  
お問合わせ先 / 総務部: TEL (03) 5229-3737

